

新たなごみの資源化施設について

「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を踏まえ、2013年に策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき整備を進めている、新たなごみの資源化施設について、2019年9月の行政報告以降の進捗状況等を報告いたします。

1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

資源ごみ処理施設整備については、分散化の方針は変更せず、相原地区については2025年度、上小山田地区については2027年度の稼働に向け、関係者と施設の建設に関する協議及び調整を進めております。

また、2022年1月から既存工場棟の解体工事が始まることに伴い、現在既存工場棟で行っている、トレイ、紙パック類、ペットボトル等の処理について、期間を限定した暫定処理の方法に関する調査及び調整を行いました。

トレイ、紙パック類については新工場敷地内、リレーセンターみなみからの容器包装プラスチックのボールは排水浄化センター敷地内を保管場所として活用する方向で検討を進めています。また、ペットボトルは、外部委託に向けて契約方法等の調整を進めています。

2 熱回収施設等（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

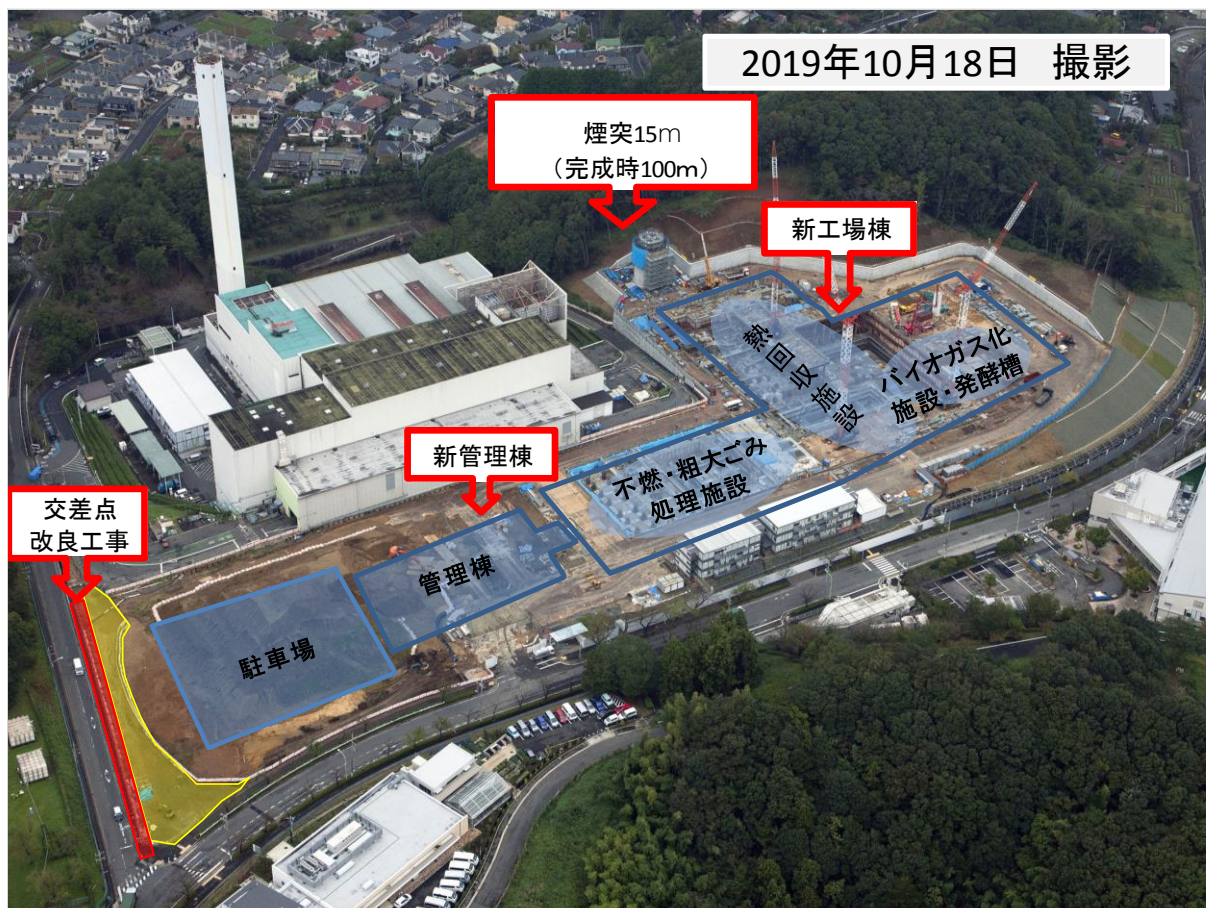
（1）地区連絡会

11月25日（月）に第22回町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会を開催し、新しい施設の愛称についての協議を行いました。また、既存工場棟で行っている、トレイ、紙パック類、ペットボトル等の処理について、資源ごみ処理施設が稼働するまでの暫定処理の方向性を報告しました。

（2）工事の進捗状況及び今後の予定

現在、新工場棟の地下躯体工事を進めており、2019年度中の完了を予定しています。また、施設西側で進めている交差点改良工事は、既存の水道管の移設工事が完了し、1月からはガスパの移設工事を進めます。工事にあたっては、引き続き、歩行者の安全確保を徹底してまいります。

【熱回収施設等工事位置図】



(3) 現場見学会の実施状況

熱回収施設等の建設工事現場で、11月17日(日)に親子見学会を開催しました。当日は、12組30名の親子にご参加いただき、工事中のごみピットの見学、120tクレーン車の乗車体験やピット掘削時の砂を利用したカラーサンドアートの作成などを行っていただきました。

現場見学会は、今後も工事の進捗に合わせ開催したいと考えております。

